

みえ高齢者元気・かがやきプランの策定にあたって



我が国では諸外国に例をみないスピードで高齢化が進行しています。「団塊の世代」が全て75歳以上となり、介護が必要な高齢者が増加すると推計される令和7（2025）年には、県内における75歳以上の高齢者人口は31万8千人に達し、5.4人に1人が75歳以上となることが予想されています。さらに、要介護者・要支援者、一人暮らし高齢者、認知症高齢者の増加も見込まれます。

高齢者を取り巻くこうした状況に対応するため、医療、介護、予防、住まい、生活支援が一体的に提供される「地域包括ケアシステム」のさらなる深化・推進が求められています。

このたび、これまでの取組の検証もふまえ、令和3（2021）年度からの3か年を計画期間とする「みえ・高齢者元気ががやきプラン」（「第8期三重県介護保険事業支援計画・第9次三重県高齢者福祉計画」）を策定しました。

このプランでは、「1．介護サービス基盤の整備」、「2．地域包括ケアシステム推進のための支援」、「3．認知症施策の推進」、「4．安全安心のまちづくり」、「5．地域包括ケアシステムを支える介護人材の確保および業務効率化の取組」、「6．介護保険制度の円滑な運営と介護給付の適正化」の6つを柱にして取組を進め、地域包括ケアシステムの深化・推進を図ることで、地域共生社会の実現をめざします。

また、感染症に対する備えとしては、介護事業所等における感染防止対策について必要な支援を行うとともに、関係団体と連携し、発生時における応援体制を強化するなど、高齢者が安心して介護サービスを利用できるよう、しっかりと取り組んでまいります。

このプランの取組を通じて「高齢者が元気に輝きながら暮らすことができる地域」をめざしてまいりますので、皆様のご理解ご協力を賜りますようお願いいたします。

令和3年3月

三重県知事 鈴木英敬

